

2021年9月3日
株式会社博報堂メディカル

博報堂メディカル、アドビ株式会社との協業で 製薬業界に特化したDX支援サービス提供開始

株式会社博報堂メディカル（東京都港区、代表取締役社長:小泉直子 以下博報堂メディカル）は、製薬企業の医療用医薬品プロモーションにおけるDXをサポートする専門部隊「Medical DX チーム」を発足、アドビ株式会社（東京都品川区、代表取締役社長:神谷知信 以下アドビ）との協業によるサービスの提供を開始いたしましたのでお知らせいたします。

製薬業界の医療用医薬品プロモーションにおいては、デジタル技術の進化や医療環境の変化、さらにはCOVID-19の影響により、患者・家族・医療関係者への情報価値の最大化、コミュニケーション活動の効率化、製薬企業内の業務効率化に向けたマーケティングオートメーション（以下MA）の導入をはじめとするDXが加速しています。一方で、様々な課題により目指すゴール到達に時間がかかっているのが現状です。

博報堂メディカルは、製薬業界のDXサービス支援の課題を解決するために、創業以来培ってきたコミュニケーションプラン策定やプロモーションツール作成などにおけるメディカルコミュニケーションの知見とデジタルに精通したスタッフによるデジタルソリューションのノウハウを統合した専門部隊「Medical DX チーム」を立ち上げました。加えて、優れたCXM（顧客体験管理）基盤であるAdobe Marketo Engageを保有するアドビとの協業によりシステムコンサルティングからコンテンツ制作、ソリューション実装に至るまで一気通貫で支援することが可能となり、製薬業界の重要なステークホルダーとなる患者・家族・医療従事者に対して、迅速に最適なコンテンツを最適な接点にて創出し届けることが可能となりました。

「Medical DX チーム」の特徴と成果

- ・医療用医薬品のマーケティングに精通し、デジタルならではのクリエイティブ/コンテンツ制作のノウハウとナレッジをもった博報堂メディカルのスタッフで構成
- ・アドビの専門チームが提供するデータ分析に基づき、両社のディスカッションを踏まえたデジタルコミュニケーションのPDCAサイクルを高速で回すことが可能
- ・製薬会社のDX推進のプロジェクトセットアップから、複数領域における医療従事者向けコンテンツ戦略立案および制作、オウンドサイトへの掲載、初回Adobe Analyticsによる分析までを約6カ月で達成

アドビ株式会社 エクスペリエンス ビジネス サービス部 山田 智久部長より

以下コメントをいただきました。

「博報堂メディカル様とともに日本の製薬業界におけるデジタルトランスフォーメーションを推し進められることを嬉しく思います。COVID-19の影響もあり、デジタル化による医療従事者や患者への迅速で正確な情報提供は、業界全体における喫緊の課題となっています。アドビには、グローバルで7,000社以上に顧客体験管理プラットフォームとコンサルティングを提供してきた実績があります。博報堂メディカル様の協力のもと、アドビの知見を活かしながらコンテンツ戦略からデジタルマーケティングの運用までシームレスにご支援してまいります。」

今後も、博報堂メディカルはアドビ株式会社との協業により、製薬業界に関わるあらゆるステークホルダーにとって理想的なジャーニーを見据え、製薬業界の顧客体験価値を高めるDX支援サービスを提供してまいります。

【本件に対するお問い合わせ先】

株式会社博報堂メディカル Medical DX チーム
メーリングリスト：hakuhodomedical@hakuhodo-medical.co.jp

【会社概要】

株式会社博報堂メディカル

所在地：〒107-0052 東京都港区赤坂 6-1-20 国際新赤坂ビル西館 8F

事業内容：医療用医薬品を対象とした専門広告会社。事業、領域、製品ビジョン策定やブランディング、マーケティング戦略立案、医師・生活者調査、メッセージ開発などの戦略構築から、製品情報概要など医師向け資材、学会速報、Web サイト構築、メディア施策等

ホームページ：http://www.hakuhodo-medical.co.jp/